



京都ノートルダム女子大学

国際日本文化学科 オープンキャンパスのご案内

ガイダンスは、10時～

8月5日(土)

○ ミニ講義

10:50～

河野有時 教授

「ハチ」と「HACHI」は違う犬！

TikTokで「**#fypツ**」を見たことがありますか？「fpy」は、「for you page」、つまり「おすすめページ」という意味です。では、「ツ」は？これは、笑顔を表しているようです。(ツ) こうすれば顔に見えてきましたか？びっくり(° ㇔ °) ですね。でも、このびっくり顔の真ん中はキラリ文字なんです。人は見慣れていると他の見え方がなかなかできないものですね。これは、物語も同じ。作品が新たに作り直されることを「リメイク」と言ったりしますが、今日は、海外で作直されたリメイク版とオリジナルを見比べながら、文化の違いについて考えてみましょう。この比較をとおして、それぞれの文化の意外な事情が見えてくるはずですよ。

14:00～

鷲見朗子 教授

舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』の魔力

『ハリー・ポッター』シリーズ(全7巻)の8番目の物語とも呼ばれている、舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』がテーマです。もうこの舞台はご覧になりましたか。2016年にロンドンで初演、その後世界の6都市で上演され記録的なヒットとなっています。イギリスやアメリカで名だたる演劇賞を獲得。アジアでは初となる東京公演が2022年より行われています。この春に東京公演、そしてロンドン公演を観劇した教員が、その舞台の魔力を解き明かします。

○ 体験コーナー 話しことばゼミ(学生) ラジオ番組を一緒に作りませんか？ —ステレオタイプの検証

ラジオ番組の企画から、その生放送番組に出演までしてきた国際日本文化学科の学生たちとともに、(模擬)ラジオ番組で「トーク」体験してみませんか？ ハワイからの留学生も参加予定。「ハワイの人は皆、フラダンスを踊れるの？」「女子大生はインスタ映えを気にするの？」など、あなたのイメージは本当にそうなのか、文化の違いや、女子大生をテーマにラジオ番組のように話してみよう！

8月6日(日)

○ ミニ講義

10:50～

吉田朋子 教授

擬人化の東西比較



#fypツ

人間の言葉をしゃべらないはずの動物や植物が話す、さらには命のないはずの道具が動き出す…日本文化において、擬人化はさまざまな時代・メディアで見られます。現在、どこにでも発生している「ゆるキャラ」もその一つかもしれません。一方、ヨーロッパでは抽象的な概念を人間像で表す「擬人像」が古くからの伝統です。この二つの擬人化はどう違うのか？共通点はあるのか？一緒に考えてみましょう。

14:00～

朱鳳 教授

カレーは漢字でどう書きますか —洋食名の表記を考えてみましょう

今はレストランのメニューやスーパーマーケットの棚に陳列している洋食商品の名前はほとんどカタカナとなっていますが、実はかつて「牛油、麵包、葡萄酒」などのような漢字名の表記もありました。明治時代の字書、料理本を使って、洋食のネーミングについて、さらに食文化の東西交流における漢字の役割を考えてみましょう。

○ 体験コーナー 岩崎れい 教授 カレーと咖喱 ～宛字外来語を調べてみよう

葡萄酒とワイン、これは日本語と外来語ですね。咖喱とカレー、これはどうでしょうか？両方カレーと読む外来語です。日本では、外来語が入ってきたときに、漢字を当てはめた宛字外来語という表記も使っていた時代がありました。夏目漱石の『倫敦塔』など、見たことのあるものもありますね。これらの宛字外来語を調べるための辞書があります。今回は、食べ物にまつわる外来語が、日本の近代にどのように表記されていたか、調べてみませんか？

● 8月5日6日ともに、相談コーナーや、国際日本文化学科の留学生と交流できるコーナーもあります。